

令和8年度「英語コミュニケーションⅢ・総合英語Ⅲ」シラバス

科 目 名		必修・選択	単位数	類型
英語コミュニケーションⅢ 総合英語Ⅲ		必修	4	普通科 文型／理型 グローバルコミュニケーション科
教科書 副教材等	Heartening English CommunicationⅢ (桐原書店) Heartening English CommunicationⅢ ワークブック (桐原書店) 英単語ターゲット1900 (旺文社) 大学入学共通テスト対策問題集・長文読解問題集数種 (書名は未定)			

1 学習目標

- ① 1、2年次の英語の学習を発展させ、難易度が高く、長い英文の内容を最後まで読み切る読解力を養成する。
- ② 大学入学共通テストや個別の大学入試で出題される様々なタイプの英文を速く、正確に読解するスキルを身に付ける。そのために重要な語いや構文などのポイントを副教材を使用して学習する。

2 学習概要

- ① じっくりと英文を読むことを通して音声・語句・文法を総合的なものとし、再確認してだけでなく、フレーズリーディング(意味のまとまりで意味をつかんで読んでいく)、パラグラフリーディング(パラグラフ《＝段落》の主題文を捉え、内容を把握する)、スキミング(文章の概要をつかむ)などの読解方法を取り入れて、早く正確に内容や要点が捉えられるようする。
- ② 1学期は週一回単語の豆テストを実施する。＜別紙の出題範囲表を確認すること＞
- ③ 2学期途中からは、大学入学共通テストに向けて問題演習を行う。

3 学習方法

語学の習得で重要かつ必要なことは繰り返すこと。復習→予習→授業→復習のリズムを確立する。

＜予習＞ ～類推力を高める訓練の場～

教科書に準拠した予習ノートにある問題に家庭で取り組んでから授業に臨む。配布された補助プリントなどはノートに貼り、整理しておくことも忘れないように。

ポイント：長文を読みながら要点をつかむ努力をする。「～について、～のこと」など日本語で簡単なメモを残す。読み終えたら、段落全体で主張されている内容を一言で要約する。

＜授業＞ ～誤りに気づき、思考力を鍛える読解の場～

「自分はどの点を補強したら英文が読めるようになるか？」を考える。各文の構造・文と文との対応・意味内容について「自問しながら読む」癖をつける。板書以外に、必要なことはノートにメモする。予習でわからなかったこと、疑問に思ったことは聞き逃さないように。授業を聞いてもわからなかったことは、授業の後すぐに担当の先生に質問し、疑問点を解消する。音読する時には、意識してモデルの音声をマネしながら繰り返す。

＜復習＞ ～二度と間違わないための創意工夫の場～ →復習は3段階で

第1段階：わからない箇所に出くわすと、すぐろくの「振り出しに戻る」のように、長文の冒頭や段落の始めに戻る癖のある人は、とりあえず読み進めることを強く意識する。

第2段階：一度英文をピリオドまで読んだ後に、文の後ろから日本語に訳していくのは大変時間がかかり非効率的。英文は左から右に「読み下す」ようにトレーニングしよう。

第3段階：音読を最低でも5回繰り返す。ただし、語い力があいまいだと音読の効果が半減するので、音読の前に単語や表現の意味をすべて言えるように読み直し、日本語訳を使い半分の時間で再チェック！英語の学習は音読に始まり、音読に終わる。繰り返して声に出して読むことで頭に残り知識が定着する。

＜英語の外部検定試験＞

卒業時までには英検2級や準1級の取得をめざそう。級やスコアによって得点換算されるので推薦、一般を問わず大学入試に非常に有利です。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能(①)」、「思考・判断・表現(②)」、「主体的に学習に取り組む態度(③)」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

（２）評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価規準	各単元で習得すべき文法項目に関連する文の特徴や決まりを理解している。また、本文の内容を整理し、学習した新語などを用いて話す技能を身につけている。	各単元の内容に応じてインタビュー等を行い、要点を捉えている。また、得られた情報を整理して、感想や記事をわかりやすく書いている。	各単元目標の活動をおこなうために、各単元の概要・要点・詳細・メッセージなどを積極的に捉えようとしている。

5 学習計画

学期	月	課	タイトル 【評価の観点】	学習のねらい		考査等
				指導項目	主な言語材料	
1 学期	4	L1	What Makes Up Your Identity? 【①②③】	アイデンティティについて扱い、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う。	自分のアイデンティティについて考え説明する。	学力テスト
	5	L2	Predicting Future Technology 【①②③】	未来予想について扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	未来の科学技術で最も重要なものについて自分の意見を伝える。	中間考査
	6	L3	The Science of Sleep 【①②③】	睡眠について扱い、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養うことにつなげる。	睡眠不足から生じる問題を抱えている友人に、その解決策を考えて伝える。	
	7	L4	Diversity and Inclusion 【①②③】	多様性について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	多様性を促進するために最も重要な要素について考え相手に伝える。	期末考査
2 学期	9	L5	Protein Crisis 【①②③】	将来のタンパク源について扱い、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。	将来のタンパク源として最適なものについて話し合いパラグラフを書く。	学力テスト
	10	L6	Different Types of Happiness 【①②③】	幸福論について扱い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度などを養う。	自分の幸せにとって何が大切かについて話し合いエッセイを書く。	中間考査
	11	L7	Pros and Cons of Utilizing AI 【①②③】	AI について扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	AI の良い点と悪い点について話し合う。社会生活においてどの程度 AI に頼るべきかについてパラグラフを書く。	学年末考査
	12	L8	Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect 【①②③】	伝統工芸品について扱い、文化を尊重し、それを育んできた環境を大切にする態度を養う。	日本の伝統工芸品の特長を調べ、相手に説明する。	
		L9	Getting Your Message Across 【①②③】	人前で話し方について扱い、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。	人前で話す際に言いよどみをすべて取り除くべきかについて意見を伝える。	
3 学期	1					
	2	L10	Medical Ethics During a Pandemic 【①②③】	医療倫理について扱い、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	有効性が確立されていない医療を試すことについて、自分の意見を伝える。	
	3					